２０２3とちぎ有機の会「市民講座」

**「多重危機が世界で進行する中で、**

**世界を救えるのはやはり有機農業」**

2023年度の市民講座は、2020年度に引き続きまして一人の講師による通年講座といたしました。

講師は､民間稲作研究所常任理事の印鑰智哉さんです。印鑰さんにつきましては、2023年2月の研究所

公開シンポジウムにおいて「急速に進む命の分解」と題した報告をしていただきました。その報告内容の

詳細を知りたいとの声がたくさんあり、今回の企画となりました。

**第4回**

**工業型農業から有機農業・アグロエコロジーへ**

昨年の7月から始まった市民講座が最終回を迎えます。最近、アグロエコロジー という言葉を耳にする

 る機会が多くなってきました。直訳すれば、アグロ（農 業）とエコロジー（生 態 学）を合わせて「農生態

学」となりますが、これだけでは何のことか よくわかりませんね。

アグロエコロジーを研究している専門家によると、「持続可能な農業とフードシステムを実現するために

“科学”“実践”“運動”を統合する農の営み」と定義づけしています。とても間口広く、奥行きの深い考え

方であることが お分かりいただけると思います。

今回はこのアグロエコロジーを踏まえつつ、現在、日本社会に迫る食料危機や農業の危機にどう対抗で

きるのか、大テーマである「**多**重危機が世界で進行する中で、世界を救えるのはやはり有機農業」を、皆

さん方と いっしょに考えていきたいと思います。

記

期日 20２4年1月17日（水）

時間 １8時0０分～20時0０分

会場 NPO法人民間稲作研究所 有機農業技術支援センター （上三川町下神主233）

 （センター内30台駐車可。電車はJR石橋駅東口からタクシーで約5分）

申込み 氏名・連絡先を添えTEL/FAX 0285-53-1133まで。

 民間稲作研究所のホームページからも申し込めます。

会費 500円

定員 30名（先着順）

参加申込書

**先着３０名**です。資料準備の都合上、**1月15日（月）午前中 まで** にお申込みください. 。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ご氏名 | フリガナ他 　　　名 | 連 絡 先電話FAXメール |  |
| ご住所 | 〒 |

問合せ：とちぎ有機の会　斎藤・高山（NPO法人民間稲作研究所内）

TEL/FAX（0285-53-1133）または同じ内容をメールでinfo@inasaku.orgまで

 年 間 予 定（ 変更の際は ホームページ等で お知らせします ）

＜　2023年度　市 民 講 座 の 開 催 内 容　＞

　　　　　　月　　日　　　　　　　　　　内　　　　容

第1回　 7月26日（水）　工業型農業が多重危機を作り出した　→ 放射線米がやってくる ？

第2回　 9月27日（水）　遺伝子組み換え食品は何をもたらしたか？

第3回　11月29日（水）　「ゲノム編集」食品は何が問題か？

第4回　 1月17日（水）　工業型農業から有機農業・アグロエコロジーへ

［付記］開催日や内容を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。